

将来像3 “誰もが幸せ感じるまち しらおい”

一人ひとりの安全・安心、かけがえのない命を守り、若い世代が「白老に住んでみたい・住み続けたい」と思える快適で住み良い暮らしの環境実現に向け、皆様の声に耳を傾け、誰もが幸せを感じることできるまちへ

目標7 安全安心なまち、

平成30年に発生した北海道胆振東部地震のように、自然災害はいつ何時（なんどき）襲ってくるか予断を許さないものであり、被害を最小化する「防災・減災・縮災」の考え方を基本に町民の皆様が安全・安心に生活できるまちづくりを推進する必要があります。

いつでもどこでも安全・安心を確保し、町民一人ひとりの命を守り「もしもへの備え」ができるまちを目指します。

令和5年度は

防災に関連し、「誰一人取り残さない」考えのもと、要援護者の避難情報等共有体制の構築や町民主体による自主防災組織活動への支援など、助け合いの地域づくり、災害に強いまちづくりに向けた地域防災力の強化を図るとともに、複合的機能を有する防災拠点の整備に向け、更に検討を進めます。

■自主防災組織活動支援事業（新規）

地域防災活動の主体となる自主防災組織の活動を活性化するため、研修・訓練・勉強会などの実施や防災資機材の整備など、活動に要する経費の一部を支援します（上限あり）。 **予算75万円**

■役場庁舎建設等検討調査事業

老朽化が進む役場庁舎の改築に向け、先進自治体の視察を行うほか、町民参加型の視察報告会（勉強会）を実施します。

予算45万円

目標8 快適な生活、

道路や公園をはじめとした社会インフラや、住環境の適切な整備を行うことは、町民一人ひとりが快適な生活を送るうえで、また、地域の経済活動を活性化するうえで、重要な役割を持っています。

暮らしに身近な環境を、快適で住み良い、幸せ感じられるまちを目指します。

令和5年度は

道路・住環境に関連し、安全で快適な町道、笑顔あふれる憩いの場としての公園、公営住宅の老朽化対策など町内インフラの計画的な整備を進めます。また、住宅のバリアフリー改修等への支援に取り組むほか、空き住宅等の適切な管理及び利活用を含めた空き家対策に取り組めます。

■町道改修事業／北吉原中通り改修事業

町民生活の安全性確保に向け、昨年度に引き続き地域内生活道路（北吉原中通り）の舗装補修を実施し、利用者の利便性向上に努めます。 **予算4,356万円**

■都市公園トイレ改修事業（新規）

老朽化が進む萩野ハマナス広場および東町2号公園の木造トイレを改修し、利用者や周辺住民の利便性向上を図ります。

予算772万円